

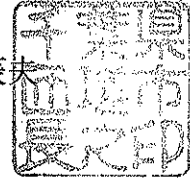


匝企第41号

平成19年4月23日

国土交通省道路局長 様

匝瑛市長 江波戸 辰夫



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について

平成19年4月2日付け、国道企第114号により依頼のありましたこのことについて、別紙のとおり提出いたします。

1 重点化を進める上で特に優先度の高い施策

道路は、交通の不便な地域において地域住民の暮らしを支える最も身近な社会資本でありますので、地域のニーズを的確に把握するとともに、費用対効果に十分検討を加えた上で、人の交流や物流の活性化に繋がる道路整備を優先に考えていただきたい。

また、阪神・淡路大震災などの大災害を契機に生活の安全・安心の確保に対する関心が高まっておりますので、狭隘な道路の整備や慢性的に交通渋滞が生じている道路については、防災の面からも計画的に改修していくことも重要であります。

2 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

これまでの道路整備は、重複投資、高コスト、華美、過大設計等、事業の効率性について軽視していた感があります。また、景気の長期低迷による国・地方を通じた財政悪化により、暮らしを支える最も身近な施設であっても、これまでのような整備手法を継続することは困難な状況にあります。

今後の整備に当っては、工法の工夫や新技術の活用によるコストの削減、事業ごとの評価と国民への公表、また、現在ある道路の有効利用について検討することも必要であると考えます。

3 その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見

首都圏と東総地域を結ぶ銚子連絡道路は、首都圏中央連絡道路や千葉東金道路との連携強化による地域間の交流や東総地域の経済活動の発展に欠かす

このできない幹線道路でありますので、早期完成に向け取り組んでいただくことを要望します。

また、昭和63年に完成した東総地区広域営農団地農道は、匝瑳市北部を東西に横断する首都圏と地域を結ぶアクセス道路であります。

西は、国道296号線へ、東は主要地方道路銚子海上線を経て利根かもめ大橋有料道路へ繋がる交通体系となっていることから、国・県道に匹敵する交通量があり、物流や観光等で今後も益々増大することが見込まれることから県道への昇格について要望するものであります。